小鹿野町 議会だより

第85号
令和８年11月１日発行
発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会

小鹿野町議会
HPはこちら→







踊る！鹿中体育祭！

Contents

○議案審議の内容 ②～⑥
令和７年度各会計歳入歳出決算審査など
○第３回９月定例会審議結果 ⑦
町長提出議案18件（全件可決）
議員提出議案１件（否決）
○一般質問 ⑦～⑩
今回は６名の議員が一般質問を行いました

小鹿野中学校体育祭

令和８年10月10日(土)快晴の空のもと小鹿野中学校体育祭が開催されました。

生徒たちは赤・青・黄の３組に分かれさまざまな競技で競い合いました。

最後は力強いソーラン節が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。

終点の先、秩父の秘境へ。おがのまち

特集

「決算」ってなあに？
我が家の家計でわかる！「予算」から「決算」までの１年

9月定例会概要

町長提出議案18件　議員提出議案1件を審議
町長提出議案は全て可決　議員提出議案は否決

【決算とは･･･】

１年間にどんなことにお金を使ったのか、予定どおりに賢くやりくりできたのか。
結果を振り返り、次の暮らしへ活かすための大切な答え合わせです。

「町の税金やお金の使い道って、どうやって決まって、どう終わるの？」
そんな疑問を、身近な「我が家の家計簿」に例えて分かりやすくご紹介します！

【３月】
家族会議で１年の家計簿（予算）を決める

「来年は収入がこれくらいありそうだから、食費にいくら、子どもの教育費にいくら、貯金にいくら回そうね」と、家族みんなで1年間の使い道（予算）の予定を立てる段階です。

→

【４月～翌年３月】
実際に生活して、お金を使ったり貯めたりする

予定に沿って実際に1年間生活します。途中で物価が上がって想定外の出費があったり、逆に節約して貯金ができたりしながら、1年間の暮らしを回していく期間です。

↓

【翌年７月頃】
「家計アドバイザー（監査委員）」による帳簿チェック！

１年が終わったら、大切な家族の共有財産が正しく使われたかを、専門の家計アドバイザー（監査委員）にレシートや通帳をすべて見せて、「不正や無駄遣い、計算ミスはないか」をチェックしてもらいます。

←

【翌年9月】
「家族の代表（議員）」と一緒に「我が家の家計を最終チェックする！」

アドバイザーのチェック結果をもとに、今度は家族の代表（議員）が集まって、「本当にその買い物は必要だった？」「無駄な出費はなかった？」と１年間の家計を最終チェックします。

↑

【議会が審査する前に･･･】

決算は、いきなり議会が数字を見始めるわけではありません。
議会に提出される前に、専門的な立場から「監査委員」による事前チェックを受けています。

監査委員って？

町のお金や仕事が正しく行われているかを、公平・公正な立場で確認する人です。
議会とは別に、町長から独立してチェックを行います。
専門的な知識や経験を持つ代表監査委員と、議会議員から選ばれる議会選出監査委員の２名が務めています。

監査委員による決算の監査

「お金が正しく使われたか」をチェックし、「審査意見書」を町長に提出。

→

議会による決算の審議

町長から提出された審査意見書と決算書をもとに、今度は町民の代表である議員（議会）がさらに深く審査！

→

翌年度以降への反映

決算審査で指摘された課題や成果の検証結果は、次年度の予算編成や事業見直し、行政改革にしっかりとフィードバック！

議会からのひと言コメント

議会では、今回の審査結果を今後の予算審議や政策提言にしっかりとつなげ、町民の皆さまの笑顔と活力あるまちづくりを推進してまいります。

令和7年度 決算

私たちのお金、どう使われた？ 令和７年度各会計決算を審査！

一般会計

歳入総額 **88億6,253万9千円**、歳出総額は**83億6,206万4千円**で、差引**5億47万5千円**（実質収支 **4億431万6千円**）となりました。 ※実質収支…翌年度に繰り越すべき財源9,615万9千円を差し引いたもの

一般会計決算の討論



10番　出浦　正夫　**反対**

教育や医療福祉などの優れた施策を評価する一方、年間予算の原則を逸脱した事業執行や、一般会計繰入金の削減に伴う国民健康保険税の大幅な値上げ、県内一高額な水道料金、住民意向を十分に反映しない公共施設等の活用方針に強い懸念があります。

町民負担が増大している現状や政策の課題を看過できず、本決算認定には同意できません。



７番　笠原　義行　**賛成**

不透明な社会情勢や人口減少という困難な状況下、子育て支援、教育環境の充実、消防防災など町民の生活基盤を守る事業が着実に執行されたと評価します。

今後は「ワイズスペンディング」の徹底や、町のために尽力する人々を支える体制づくり、中長期的な視点に立った厳格な財政運営を求めつつ、町民が誇れるまちづくりへつなげるため、本決算の認定に賛成いたします。



議会の様子



11番　岩田　和幸　**反対**

多額の税金を投入しながら成果が見えない地域商社事業や、10億円を超える出資債の繰出と県内一高額な水道料金という重い町民負担を強く問題視します。

さらに、議会の運営姿勢や執行部の対応にも疑問を呈し、限られた財源の使い方や行政運営のあり方に納得がいかないため、本決算の認定には反対いたします。



９番　皆本　富男　**賛成**

国際情勢や経済が著しく変化する困難な状況下において、秩父荘の空調・浴槽改修や文化センター照明、野球場スコアボードの改修など、主要な大型事業が執行部一丸となってスムーズに実施された点を高く評価します。

また、監査委員から適正な執行であると認められたことを受け、今後に向けた積極的な事業推進を期待しつつ、本決算の認定に賛成いたします。

令和７年度決算の詳細は「広報おがの10月号」をCHECK！

審議結果　認　定

賛成：９　反対：２

議案審議一覧は７ページをCHECK！

特別会計

会計区分		収入済額	支出済額	収支
国民健康保険特別会計		13億716万3千円	12億7,303万9千円	3,412万4千円
後期高齢者医療特別会計		3億5,409万7千円	3億5,216万8千円	192万9千円
介護保険特別会計	保険事業勘定	15億1,604万9千円	14億4,204万4千円	7,400万5千円
	サービス事業勘定	7,877万8千円	7,128万円	749万8千円

公営企業会計

会計区分		収入済額	支出済額	当年度純利益（△損失）
浄化槽事業会計	収益的収支	1億1,307万9千円	1億1,067万9千円	191万7千円
	資本的収支	4,907万1千円	6,686万3千円	
病院事業会計	収益的収支	14億4,696万8千円	14億7,154万円	△588万2千円
	資本的収支	9,712万2千円	1億6,505万2千円	
国民宿舎事業会計	収益的収支	2,200万7千円	5,190万円	△2,989万3千円
	資本的収支	3,219万6千円	3,219万6千円	

６会計（特別会計・公営企業会計）については、全会一致で**認定**されました。

町内の公共工事で発生した残土受入れ有料化へ
「小鹿野町公共残土処理場条例」を新設

議案 Pick up

議　案	小鹿野町公共残土処理場条例
概　要	国、埼玉県、秩父広域市町村圏組合の発注する町内の公共工事で発生した残土の受入れを有料化します。 これにより、今後の施設の維持管理に必要な財源を確保します。
場　所	坂戸残土処理場（小鹿野町両神薄3250番地）
金　額	3,600円／１㎥



坂戸残土処理場

11番　岩田　和幸

反対

公共残土処理場の管理方法や、勾配・転圧などの工事施工にはずさんな点が多く見受けられ、巨額の税金が投入される事業として非常に不安が残ります。

また、担当課の姿勢や職員の業務体制にも疑念があり、これ以上の税金の使い方や今後の対応に賛成することはできません。

町民の暮らしと安全を守るため、本議案には反対いたします。



１番　黒沢　武

賛成

本議案は、公共残土の受入れに伴い使用料を徴収し、適切な維持管理の財源とするものであり、受益者負担の観点から一定の合理性があります。

一方で、現場の管理責任や公平で透明性のある受入れ体制の確立、使用料の使途の明確化は不可欠です。

これらを踏まえ、施設の安定的・適正な運営と町財政の負担軽減に繋がるものと判断し、本議案に賛成いたします。

９番　皆本　富男

賛成

町が公共残土を処理し、適正な管理や運営をしていくには手数料と経費の確保が必要です。

行政が前面に出て安全確認や監督責任をしっかりと果たし、確実かつ安全な残土処理が行われることを期待します。

こうした適切な管理と運営の継続につながるものと判断し、本条例に賛成いたします。

審議結果	可　決
賛成：10	反対：１

補 正 予 算

議　案	令和８年度小鹿野町一般会計補正予算（第２号）
補 正 額	１億2,042万6千円の増額（総額78億1,976万1千円）
概　要	国の臨時交付金や積立金などを活用し、水道基本料金の減免や小中学校の教材費補助などの物価高騰対応のほか、今すぐ必要な事業費を確保するものです。



10番　出浦　正夫

賛成

物価高騰に苦しむ町民を支援する水道基本料の減免や子育て世帯への給付金など、極めて重要な事業が含まれており、早期実現が不可欠です。

一方、旧両神中学校の水道管布設替えの負担区分には疑問が残りますが、困窮する住民が救われることを最優先し、本補正予算案に賛成いたします。

審議結果	可　決
賛成：11	反対：０

議案審議一覧は７ページをCHECK！

議案 Pick up

「非核三原則の堅持を求める意見書案」が提出され、賛成少数で 否 決

議　案　非核三原則の堅持を求める意見書案
提出者　出浦　正夫　**賛成者**　黒沢　武

非核三原則の堅持を求める意見書案

日本国民は、先の大戦で広島、長崎へ原子爆弾が投下されたことにより、核兵器の被害の大きさ、非人道性を深く心に刻んできました。

その結果、再び日本を核戦争の惨禍にまきこませないという国民の非核の願いを体現したものとして「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則は、佐藤栄作総理大臣の提唱、数度にわたる国会決議で長年にわたり「国是」として確認され定着してきました。

ところが、高市政権が年末に予定する国家安全保障戦略など安保３文書の改訂をめぐり、非核三原則の見直しが大きな争点となっています。

高市首相は「あらゆる課題についてしっかりと議論の遡上に載せる」と表明。小泉防衛相は「あらゆる政策をタブーなく議論する」と語っています。

こうした高市首相や小泉防衛相の発言により非核三原則の見直しが行われることになれば、核保有国とりわけアメリカの核戦略への加担が深められ、日本を核戦争にまきこむ危険性を高めることが懸念されます。

よって唯一の戦争被爆国として、政府が非核三原則を将来にわたって堅持し、核兵器廃絶のため世界のイニシアティブをとることを強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

討　論

審議結果　否　決
賛成：３　反対：８



６番　髙橋　耕也　反対

非核三原則の見直しを議論することと、それが核保有や戦争への加担・巻き込まれに直結するという意見書の因果関係には具体的な根拠が欠けています。

政府も非核三原則を堅持する方針を明言しており、未決定の政策を前提に最悪の結果を断定して、国に意見書を提出することは妥当ではありません。

平和の理念を共有しつつも、事実と具体的な根拠に基づいた現実的な安全保障の議論が求められるため、本意見書案に反対します。

１番　黒沢　武　賛成

本意見書案は政府の安全保障政策の否定や政策変更を求めるものではなく、基本原則である「非核三原則」を今後も堅持することを国へ求めるものです。

緊急時における不明確な課題に対し、防衛力や外交努力と組み合わせた十分な議論と説明を求めています。また、当町が平成22年に議決した「核兵器廃絶平和都市宣言」の趣旨も踏まえ、平和な未来を守るため、本意見書案への賛同をお願いします。

７番　笠原　義行　反対

核兵器廃絶の理念は共有するものの、近隣諸国の核脅威が増す現実の安全保障環境において、非核三原則の一律な堅持を地方議会が求めることは国の選択肢を狭めるものです。

ウクライナの事例なども踏まえ、抑止力を高める現実的な議論や選択肢をタブー視せず、国会と政府が総合的に判断すべきであるため、非核三原則の堅持を求める本意見書案には反対いたします。

11番　岩田　和幸　賛成

緊迫する防衛環境の中、万が一有事となれば日本が米国と一体となり核に巻き込まれる懸念は拭えません。だからこそ、世界唯一の被爆国として、非核三原則を今こそ強く訴え抜くべきです。

昨今の政治の動きには不透明さもあり、国民の不安を払拭するためにも、地方議会として非核三原則の堅持を求める意思をしっかりと示しておく必要があります。

議会全員協議会

7月10日　　出席者　議員12名

議　題

・小鹿野警察署統合について
・ペーパーレス会議システム導入（タブレット型端末）について
・行政視察研修について



8月28日　　出席者　議員12名

町からの報告事項

・小鹿野町公共残土処理場の有料化について
・クライミングパーク神怡舘の指定管理者制度への移行について
・小中学校体育館空調設備設置工事について
・株式会社地域商社おがの決算報告について　ほか

議会の検討事項

・小鹿野町議会の運営基準の一部改正について　ほか

議会改革特別委員会

経過報告

今年度４月から毎月１回程度委員会を開き、議会のルールや傍聴のあり方を見直すとともに、タブレット端末やペーパーレス会議システムの導入を進めています。

また、議場の設備、議会のインターネット配信、議会だよりなどによる情報発信の充実のほか、議会運営に関する課題についても協議を進めています。

開催状況

第１回	４月15日	第４回	７月28日
第２回	５月15日	第５回	９月１日
第３回	６月23日	第６回	10月２日

今後も、協議の内容を一つずつ整理しながら、より効率的で分かりやすく、町民の皆さまの声が届く議会となるよう取り組んでまいります！



議会改革特別委員会の様子

傍聴をしませんか！

町の議会は、年４回の定例会（３月・６月・９月・12月）と必要に応じて臨時会が開かれます。町政の動きを知るためにも、お気軽に傍聴ください。

次回定例会は、12月上旬に小鹿野町役場議場で開催予定です。

※役場内町民ラウンジ、小鹿野文化センター、両神振興会館（旧両神庁舎）のテレビモニター中継もご利用ください。

議会全員協議会は、必要に応じて開かれ、議員全員で町の課題や議会運営について話し合う場です。町から説明を受けるほか、議員だけで協議することもあります。お気軽に傍聴ください。

日程等ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。
ぜひ、ご利用ください。右のＱＲコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。

小鹿野町議会
HPをCHECK！

予算・条例等の審議結果

（○は賛成、●は反対した議員）

議案名＼議員名		黒沢 武	栗原 勇雄	猪野 茂	湯本 弘子	今井 敏夫	髙橋 耕也	笠原 義行	髙橋 謙治	皆本 富男	出浦 正夫	岩田 和幸	加藤 喜一
９月定例会	小鹿野町公共残土処理場条例	○	○	○	○	○	○	○	※髙橋謙治議員は議長のため採決に加わっていません（可否同数の場合は議長裁決となります）	○	○	●	○
	小鹿野町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和８年度小鹿野町一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和８年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和８年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	工事請負変更契約の締結について（小鹿野小中学校体育館空調設備工事（再１））	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町教育委員会教育長の任命について（武藤　彰男氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町教育委員会委員の任命について（守屋　敏夫氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町固定資産評価審査委員会委員の選任について（八木　修氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町固定資産評価審査委員会委員の選任について（加茂下 司夫氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	小鹿野町固定資産評価審査委員会委員の選任について（茂木　克彦氏）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度小鹿野町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	●	●	○
	令和７年度小鹿野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度小鹿野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度小鹿野町浄化槽設置管理事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	令和７年度小鹿野町営国民宿舎事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	非核三原則の堅持を求める意見書案	○	●	●	●	●	●	●		●	○	○	●

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧（質問順）

栗原　勇雄

①小鹿野町役場職員の勤務環境の改善について
②小鹿野町役場の職場環境の改善について
③シティプロモーション事業について

岩田　和幸

①旧長若小学校と旧長若中学校について
②下小鹿野地内の盛土について
③両神坂戸の残土処理場について
④町職員について
⑤国民健康保険税について

猪野　茂

①行政区の今後のあり方について

黒沢　武

①病児・病後児保育支援について
②避難時におけるペット同行避難について
③介護情報基盤の整備と高齢者へのデジタル化支援について

髙橋　耕也

①市街地への獣の侵入対策について
②道路沿いのポイ捨て・車上からのごみ投棄対策について
③川辺の環境美化と適正利用について

出浦　正夫

①物価・資材高騰対策について
②タウンミーティングのまとめについて
③環境自然保護について
④道路の安全施設整備、拡充について
⑤高齢者福祉について

○８～10ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します（岩田議員から一般質問要約の提出はありませんでした）。

次ページから一般質問（要約）←

町政に対する一般質問

9月定例会



人口減の先、秩父の最強へ小鹿野町

栗原　勇雄　議員

質 6月定例会において職員がいきいきと働ける環境を作るために積極的に取り組みを行う旨の答弁をいただきました。つきましては、どのような取り組みを行ったのか伺います。

答 （町長）私と職員一人ひとりと面談を行いました。職員の生の声を聞くことができ有意義な時間となりました。職員の意見を基に前例踏襲にとらわれない業務改善に繋げていきたいところでございます。毎週水曜日をノー残業デーとして実施しております。定時で退勤する機運が醸成されつつあります。

（副町長）各課を巡回し職員の様子を見るとともに声かけを実施いたしました。

（教育長）職員に対して積極的に声かけを行い若手職員と気楽に話しができる雰囲気づくりに努めております。

質 役場において勤務時間内の喫煙ルールの厳格化を実施する考えはないか伺います。

答 他自治体の導入状況や運用上の課題、職員の意識などを踏まえつつ喫煙ルールの厳格化の検討を早急に着手してまいりたいと考えています。

質 シティプロモーション事業の現在までの展開状況について伺います。

答 ブランドサイトの立ち上げ、町民編集部の結成など、町の魅力を発信する体制の整備を行なっております。

質 信濃石の交差点にある色が褪せた小鹿野町の看板等を使用して宣伝してはどうでしょうか。

答 信濃石の看板については認識しておりますので、早急に看板の更新を行なっていきます。ステッカーシール等色々ありますので、目に見える形での展開も行なっていきたいと考えています。



持続可能な小鹿野町を目指す

猪野　茂　議員

質 人口減少が進む中、各行政区の現状と今後の行政区のあり方について、町の取組状況を伺います。

答 町内の行政区は、67の行政区があり、その規模は多様です。区長協議会でも人口減少が加速し高齢化率も40％を超えるなどの危機感の背景から、今後の行政区のあり方や再編に向けた調査研究の必要性への提言がされました。再編や持続可能なあり方については、一方的に進めるのではなく、慎重に進めるべきもので、区長協議会や住民と一体となって真摯に検討してまいります。

質 三田川地区の行政区長からアンケート調査を行いました。また、近隣の市町からも行政区の統合や再編について調査してまいりました。

皆野町や旧吉田町地区では、再編前の行政区数を半分または半分以下に再編しております。今後の行政区のあり方について町長のお考えを伺います。

答 猪野議員が行った調査結果や、区長協議会の議論を踏まえ、まずは特に小規模な行政区で困っている行政区もあるので、統合することを進めていくことがよいとは思いますが、町から強制はできませんので、区長協議会で議論し統合できるところは速やかに統合するのがよいと思います。

住民自治は自治の基本であり、行政区の活動は重要であります。行政区の規模感もあるので、将来的にさらに住民自治を充実するためにも、小規模行政区の解消は重要であると考えており、よく議論し町でできることを把握しながら進めてまいります。





子育て・防災・介護の課題を問う

黒沢　武　議員

質　病児・病後児保育の利用ニーズ、1市4町の検討、実施体制について伺います。

答　令和6年6月アンケートから「施設があれば利用したい」36・4％、「利用したいと思わない」63・4％。理由は「親が仕事を休んで対応」65・1％、「他人に見てもらう不安」39・7％、「利用料」27％、併設希望は75％。1市4町で状況を共有し意見交換を続けていますが、実施体制には至らず、実施体制や費用負担等を協議します。

質　町で実施する場合の施設・医療体制、既存施設の活用や民間委託について伺います。

答　保育所・こども園に専用の空き部屋がなく、医療機関との連携や小児科医の確保も課題です。先行自治体を調査し、既存施設活用や民間委託等を検討します。

質　町の今後の方針について伺います。

答　医療資源・施設確保が課題ですが、早急に取り組みます。新市立病院への機能設置も含め、医師会と連携し議論します。

質　ペット同行避難について避難場所や広域避難者を含む受入れ体制を伺います。

答　施設外の指定スペースで飼い主管理のもと、ケージ等で管理し、令和7年度に16台を整備。訓練でケージ組立て・受付台帳管理を行っています。餌・排泄物・健康管理等のルール、広域避難者も想定し、空き教室、未利用公共施設、宿泊施設への分散も含め調査します。

質　介護情報基盤についてシステム改修状況と取組を伺います。

答　既存の介護保険システムと介護情報基盤を連携するため、請負事業者との契約に向け事務を進めています。令和8年12月中に改修を完了し、令和9年6月から本格導入します。接続テスト等で操作を習得し、運用します。



私たちの暮らしやこれからの町づくりに関して

髙橋　耕也　議員

質　市街地への獣の侵入対策について伺います。

答　野生鳥獣の侵入経路となりやすい箇所について、集落支援員等と連携を図り、地域ぐるみでできる対策を検討し集落や市街地周辺には野生動物を寄せ付けない、住み分けの考え方に基づき、「人里への侵入防止対策」を強化することで、人と野生動物が適切な距離を保つことができる町づくりを行い町のブランド価値を上げてまいりたいと考えております。

質　道路沿いのポイ捨て・車上からのごみ投棄対策について伺います。

答　町の主要幹線道路であります国道299号の千束峠や県道209号小鹿野影森停車場線のミューズパーク付近は、道路沿いにごみが多く散乱しております。これらの場所は小鹿野町の入口でもあるため、町では環境パトロールをシルバー人材センターへ委託し、定期的に巡回しパトロールと合わせてゴミの回収を実施しております。

　小鹿野町は、地域住民による環境清掃活動を実施していただいております。引き続き地域住民の郷土愛やタウンプライドのさらなる醸成のためにも自発的に実施していただく活動を支援していくとともに、町内の環境美化に努めていきたいと考えております。

質　川辺の環境美化と適正利用について伺います。

答　火災予防や不法投棄対策、自然豊かな本町の清流の景観保護の観点からも、制限は必要であると認識しております。一定の社会的ルールやモラルを守りつつ、多くの方が安全に利用できる環境を整備するよう努めてまいります。





国道299号の安全対策は急務

出浦　正夫　議員

質　道路の安全施設整備、拡充について質問します。この質問は、3月議会でも同主旨の質問を行い、県道横断歩道等の補修は行われてきましたが、国道299号については改善されておりません。

町として、国道299号の横断歩道の白線の状況を調査し、改善に向けて県、国へ要望することが重要と考えますが、お考えを伺います。

答　3月定例議会において、出浦議員からご指摘のあった国道299号河原沢地内の日影と尾ノ内、坂本の消えかかっている横断歩道については、いまだ改善されていないのが現状です。

小鹿野警察署からは、すでに警察本部へ当該箇所の補修申請を行っていると聞いております。

町といたしましても、危険な消えかかっている横断歩道の改善は早急に必要であると認識しておりますので、今後も小鹿野警察署と連携して改善に努めたいと考えております。

質　国道299号の歩道未設置箇所の整備要望についてですが、千束峠の小鹿野側の一部と、三山から河原沢までの間に歩道の未整備箇所があります。千束峠につきましては、現在、埼玉県が進めております主要地方道皆野荒川線の道路改築工事にあわせ、国道299号の歩道整備も計画していただいております。

三山から河原沢までの間につきましても、埼玉県において歩道整備を含む道路改築事業の調査が、三ヶ原から軍平までの区間で行われているところです。

町といたしましても、今後も埼玉県に対し要望を行ってまいります。

■議長交際費の公開　令和8年7月～9月

7月15日	秩父地域三議員連盟総会・交流会　会費	4,000円
7月16日	2026原水爆禁止国民平和大行進賛助金	3,000円
8月14日	秩父音頭まつり　会費	3,000円
8月15日	長瀞船玉まつり　会費	3,000円
8月16日	第5回おがの花火大会	3,000円
8月17日	秩父地域議員連盟国要望昼食負担金	2,000円
8月19日	地方行政懇談会意見交換会　会費	10,000円
小　計		28,000円
令和8年度　支出合計		87,000円

議員研修会に行ってきました！



研修名	令和8年度町村議会議員研修会
演　題	「生成AIが地域行政・議会運営・住民サービス等に与える影響」
講　師	九州大学客員教授　柏村　祐(かしわむら　たすく)氏

令和8年10月7日（水）にフレサよしみにて埼玉県町村議会議長会主催の研修会へ参加してきました。

生成AIは、行政事務の効率化や情報発信の充実など、地域行政や議会運営に幅広く活用できる可能性があることを学びました。

編集後記

9月初めに開園したダリア園もまもなく閉園を迎えます。色鮮やかな花々が季節の移り変わりを伝えている今日この頃です。

今号では、6人の一般質問と令和7年度各会計決算について報告いたしました。

町民の皆様の大切な税金が、この1年間でどのように使われ、どのような成果を生み出したか、私たちの暮らしや地域の課題がどのように反映され、未来の町づくりへと繋がっているのかをしっかり見極めることは、議会の最も重要な責務です。

皆様により身近に感じていただける議会を目指し、これからも取り組んでまいります。

湯本　弘子

▼議会だより編集委員会

委員長　笠原　義行
副委員長　栗原　勇雄
委　員　髙橋　謙治
〃　髙橋　耕也
〃　湯本　弘子
〃　黒沢　武